

教科・科目	家庭・家庭基礎	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：家庭基礎				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 家族・社会との共生 第2部 生活の自立 第3部 生活の創造	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第1部 家族・社会との共生 第2部 生活の自立 第3部 生活の創造	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、4回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 第1部 家族・社会との共生 生涯を見通す 人生をつくる	前1	1	2		4/23	4/24	—	4/20
	3		4						
	② 第1部 家族・社会との共生 子どもと共に育つ	前2	1	2		5/14	5/15	—	5/11
	3		4						
	③ 第1部 家族・社会との共生 超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	前3	1	2		5/28	5/29	—	5/25
	3		4						
	④ 第2部 生活の自立 衣生活をつくる	前4	1	2		6/11	6/12	—	6/8
	3		4						
⑤ 第2部 生活の自立 食生活をつくる	前5	1	2		6/25	6/26	—	6/22	
3		4							
⑥ 第2部 生活の自立 住生活をつくる	前6	1	2		7/9	7/10	—	7/6	
3		4							
⑦ 第2部 生活の自立 経済生活を営む 第3部 生活の創造	前6				7/23	7/24	—	7/20	
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試		8/20	8/21	—	8/17
後期	⑧ 第1部 家族・社会との共生 生涯を見通す 人生をつくる	後1	1	2		10/8	10/16	—	10/5
	3		4						
	⑨ 第1部 家族・社会との共生 子どもと共に育つ	後2	1	2		10/22	10/23	—	10/19
	3		4						
	⑩ 第1部 家族・社会との共生 超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	後3	1	2		11/5	11/6	—	11/9
	3		4						
	⑪ 第2部 生活の自立 衣生活をつくる	後4	1	2		11/19	11/20	—	11/16
	3		4						
⑫ 第2部 生活の自立 食生活をつくる	後5	1	2		12/3	12/4	—	11/30	
3		4							
⑬ 第2部 生活の自立 住生活をつくる	後6	1	2		12/17	12/18	—	12/14	
3		4							
⑭ 第2部 生活の自立 経済生活を営む 第3部 生活の創造	後6				1/7	1/15	—	1/4	
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試		1/21	1/22	—	1/18

6 先生からのメッセージ

家庭科の強みは学びを実生活で実践できることです。家庭基礎では、衣食住、人生、家族、保育、超高齢社会、経済生活など、みなさんの実生活に直結する内容を多く取り扱います。知識や技能を身に付けることはもちろん、自分の生活を振り返り、課題を考察することで、新しい価値観や行動を生み出せるよう、視野を広げて考えていきましょう。